



湯上市章

かたがみ
Katagami

市議会だより

第4号



春が来た!!

目次

◇議長あいさつ	2	◇委員会報告	10～13
◇3月定例会	2～4	◇2月臨時会、委員会構成	14
◇請願・陳情	4	◇広域事務組合	15
◇一般質問	5～9	◇私もひとこと	16

平成18年(2006年)
5月1日発行

の整備

6,800万円
582万3千円
8,383万6千円

3月定例会は、3月6日から24日までの19日間にわたり開かれました。

条例関係案17件、指定管理者の指定9件、平成17年度各会計補正予算案12件、平成18年度各会計予算案17件、人事案1件、議員発議1件、いずれも原案どおり決まりました。

3月定例会

予算編成方針

予算編成にあたっては、合併協議内容を尊重するとともに市民ニーズに沿ったサービスの維持を図りつつ、一方で平成17年度の豪雪による大幅な歳出の増加を踏まえ、継続事業や真に緊急性を要するもの等に限定し歳出の抑制に努めました。



就任あいさつ

監視機能・政策立案・活力ある議会運営

潟上市議会議長 藤原 幸作

潟上市議会議員22名は、1月29日の市民2万2200人の投票によって決定した。立候補者の掲げた選挙公約は無論、有権者の夢と希望を託した貴重な一票の重みと市民の眼光を背に活力ある議会活動を展開して負託に応えていかなければならない。

2月22日、選挙後初の臨時会が開かれ、不肖私が大方の賛同を得て議長に選出された。浅学非才であるが、市民の目線と地方分権時代の潮流を見据え議会

の議論風発が市民の期待する政策として結実するよう全力投球の信念です。

三町合併によって誕生した潟上市は、歴史と伝統の文化遺産とともに、山、川、湖、海のある自然豊かな環境に恵まれ、県下一の人口微増の立地と合わせ無限の可能性を秘めており、地域資源、特性を活かした政策によって「魅力ある田園都市かたがみ」の創建を目指したいものである。

当議会は、地方分権、地方自治法改正の推移を踏まえ、「開かれた議会」「監視機能充実の議会」「政策立案強化の議会」を運営理念の三本柱として推進する。

本年度は、潟上市の近未来を定める総合発展計画、都市計画の策定、行政改革大綱の実施、農業の品目横断的経営安定対策等の重要課題が山積。これに対応する政策、行動規範は地域的発想から意識改革し市民が誇れる潟上市を創りたいものである。

各特別会計・企業会計予算

会 計 名	予 算 額	会 計 名	予 算 額
国民健康保険事業特別会計	32億501万2千円	豊川財産区特別会計	171万6千円
老人保健特別会計	36億93万1千円	下虻川財産区特別会計	58万7千円
介護保険事業特別会計	20億8,185万5千円	和田妹川財産区特別会計	56万5千円
有線放送事業特別会計	4,400万6千円	飯塚財産区特別会計	72万8千円
農業集落排水事業特別会計	1億3,726万8千円	土地取得事業特別会計	2,364万4千円
下水道事業特別会計	16億8,596万8千円	水道事業会計	9億8,383万6千円
合併処理浄化槽事業特別会計	2,354万3千円		



平成18年度予算

生活環境

一般会計 118億
特別会計 108億
企業会計 9億

歳入（一般会計）

区 分	本年度予算額
依存財源	85億4,378万4千円
地方譲与税	4億1,040万円
地方交付税	54億2,308万7千円
各種交付金	3億7,190万1千円
国県支出金	15億4,599万6千円
市債	7億9,240万円
自主財源	33億2,421万6千円
市税	22億9,330万8千円
分担金・負担金	1億0,847万8千円
使用料・手数料	2億1,672万円
財産収入	1,184万8千円
繰入金	3億3,400万1千円
繰越金	2億円
諸収入	1億5,986万1千円
歳入合計	118億6,800万円

歳出（一般会計）

区 分	本年度予算額
議会費	1億9,403万5千円
総務費	12億7,058万円
民生費	36億1,694万1千円
衛生費	10億7,734万6千円
労働費	899万円
農林水産業費	4億3,521万3千円
商工費	1億6,755万9千円
土木費	12億4,421万4千円
消防費	8億2,455万7千円
教育費	12億5,387万6千円
災害復旧費	1千円
公債費	17億6,368万8千円
予備費	1,100万円
歳出合計	118億6,800万円

一般会計 主な事業

- クリーンセンター排ガス冷却塔及び空気予熱器更新工事
2億2,050万円
- 国体関係費
6,660万円
- 道路台帳作成委託
6,131万円
- B & G 海洋センター改修（2ヶ所）
2,645万円
- 種苗交換会
2,500万円
- 天王第2排水機場設置工事
2,149万円
- 児童手当（小学校3年までから修了まで延長）
2億2,067万円
- 放課後児童クラブ
2,030万円
- 豪雪対策維持補修工事
7,000万円
- 元木山公園東線
1,689万円
- 都市計画基本方針策定委託
1,415万円
- 地域防災計画策定委託
952万円
- 防火水槽設置工事
736万円
- 天王第5分団車庫建築
730万円
- ふれあい交流センターラジウム温泉及び岩盤浴設置工事
682万円

平成18年第1回議会定例会議案結果

議 案	結 果
○市男女共同参画推進条例（案）	可決
○市男女共同参画センター設置条例（案）	可決
○市受胎調節実地指導員指定証交付等手数料徴収条例（案）	可決
○市優良宅地造成認定手数料徴収条例（案）	可決
○市優良住宅新築認定手数料徴収条例（案）	可決
○市砂利採取計画の認可等手数料徴収条例（案）	可決
○市犯罪被害者等基本条例（案）	可決
○市犯罪被害者等見舞金の支給に関する条例（案）	可決
○市国民保護対策本部及び緊急対処事態対策本部条例（案）	可決
○市国民保護協議会条例（案）	可決
○市議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例（案）	可決
○市非常勤の特別職職員等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例（案）	可決
○市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例（案）	可決
○市手数料条例の一部を改正する条例（案）	可決
○市国民健康保険条例の一部を改正する条例（案）	可決
○市介護保険条例の一部を改正する条例（案）	可決
○市財産区財政調整基金条例の一部を改正する条例（案）	可決
○市飯田川社会福祉会館の指定管理者の指定	可決
○市飯田川ふれあいの家の指定管理者の指定	可決
○市昭和デイサービスセンターの指定管理者の指定	可決
○市昭和在宅介護支援センターの指定管理者の指定	可決
○市昭和高齢者ふれあい館の指定管理者の指定	可決
○市飯田川高齢者生きがい対策創作館の指定管理者の指定	可決
○市昭和地域農業総合管理施設の指定管理者の指定	可決
○市天王ふれあい交流センターの指定管理者の指定	可決
○市元木山公園グラウンドゴルフ場の指定管理者の指定	可決
○男鹿地区消防一部事務組合規約の一部を変更する規約の協議	可決
○男鹿地区衛生処理一部事務組合規約の一部を変更する規約の協議	可決
平成17年度補正予算	
○市一般会計補正予算（案）	可決
○市国民健康保険事業特別会計補正予算（案）	可決
○市介護保険事業特別会計補正予算（案）	可決
○市有線放送事業特別会計補正予算（案）	可決
○市下水道事業特別会計補正予算（案）	可決
○市合併処理浄化槽事業特別会計補正予算（案）	可決
○市豊川財産区特別会計補正予算（案）	可決
○市下虻川財産区特別会計補正予算（案）	可決
○市和田妹川財産区特別会計補正予算（案）	可決
○市飯塚財産区特別会計補正予算（案）	可決
○市土地取得事業特別会計補正予算（案）	可決
○市水道事業会計補正予算（案）	可決
平成18年度当初予算	
○市農業集落排水事業特別会計への繰り入れ	可決
○市下水道事業特別会計への繰り入れ	可決
○市合併処理浄化槽事業特別会計への繰り入れ	可決
○市一般会計予算（案）	可決
○市国民健康保険事業特別会計予算（案）	可決
○市老人保健特別会計予算（案）	可決
○市介護保険事業特別会計予算（案）	可決
○市有線放送事業特別会計予算（案）	可決
○市農業集落排水事業特別会計予算（案）	可決
○市下水道事業特別会計予算（案）	可決
○市合併処理浄化槽事業特別会計予算（案）	可決
○市豊川財産区特別会計予算（案）	可決
○市下虻川財産区特別会計予算（案）	可決
○市和田妹川財産区特別会計予算（案）	可決
○市飯塚財産区特別会計予算（案）	可決
○市土地取得事業特別会計予算（案）	可決
○市水道事業会計予算（案）	可決
○議会広報編集特別委員会の設置に関する決議	可決
○監査委員の選任	同意

**議会選出の監査
委員選任案に同意**

佐藤 昇

湯上市天王
字北野 111-1

昭和18年10月28日生



陳情 採択

●子育て支援の充実を求める意見書提出の陳情について
提出⇒連合秋田・男鹿南秋地区連絡会
付託⇒文教常任委員会

陳情 不採択

●武力攻撃事態等における

陳情 継続

●勤労者・国民への安易な増税路線の撤回を求める意見書提出の陳情について
提出⇒連合秋田・男鹿南秋

「市町村国民保護計画」策定に反対する陳情
提出⇒有事立法阻止秋田県実行委員会
付託⇒社会厚生常任委員会

●社会保障制度の一体的改革を求める意見書提出の陳情について
提出⇒連合秋田・男鹿南秋地区連絡会
付託⇒社会厚生常任委員会

地区連絡会
付託⇒総務常任委員会

財政問題は



西村 武 議員



答弁に立つ石川市長

問 潟上市10年間の財政計画で地方税・地方交付税の計画と現状に違いがあるか。

答 地方税は税制改正等を考慮し、過大見積りもりのないよう推計したものであります。次に地方交付税では平成17年・18年は財政計画と比較し増であるが、19年度以降の動向は現時点では不透明で見通しを立てることは困難な状況です。

問 三位一体改革で税の委譲に伴い補助金や交付金の削減もあり、市独自の財源確保が必要と思うが。

答 市として自主財源確保に努力しなければいけないことはご指摘のとおりで、行政改革大綱を策定中であ

りご理解とご協力願います。

問 市の財政バロメータで1、財政力指数について2、経営収支比率について3、公債比率について

答 財政力指数は0・32%、経営収支比率は94・5%、公債比率は17・1%で3つの財政指標を示したとおり自主財源は乏しく計画的に事業を進め財政状況を改善します。

◎少子化対策と子育て支援は

問 出産するため40万円から50万円の費用がかかるので国も現行30万円の出産一時金を35万円に拡充するが市も祝金として5万円プラス出来ないか。

答 若い方々の経済負担を軽くするため、市独自に福祉医療制度を実施しており、出産祝金としても近隣市町村の動向を見極め検討します。

問 子育てしやすい環境として教育委員会の

下に子供育成課を設置し乳幼児医療費助成、保育所、幼稚園、学校に関する相談や手続きの窓口を一本化したらいかがか。

答 子育て家庭に対する育児不安解消を図るため庁内の連絡体制を密にし、相談指導の場提供や情報提供の啓発に努めてまいります。

◎教育問題

問 児童生徒の登下校時で他府県では児童の生命が奪われていて当市でも起こらないとも限らないので登下校時の安全対策と対応は。

答 今年度文部科学省の地域ぐるみ学校安全体制整備推進事業のモデル地域として指定を受け警察・消防・防犯協会・学校等が関係の方々と組織し実践的取組を実施しています。

問 10代で喫煙を始めると悪影響が想像以上に大きく喫煙の害を学ぶ機会を作つてあげないといけないと思



なかよし登下校

うが。

答 潟上市、小学校5・6年生の授業で喫煙は健康を損なうなど学習しています。中学校でも保健体育の授業で喫煙と人体の害などについて学習しています。

◎環境問題

問 高齢者障害者世帯の除雪は行政が行うなど万全の対策が必要と思うが。

答 高齢者障害者の除排雪は地区民生委員・町内会・社協など班編成を組みこみ細かく対応しています。

本庁方式で 新市役所庁舎建設を



伊藤 博 議員

◎「指定管理者制度の実施」について

問 制度実施による行政コスト削減と変化の見通しは。また、今後の公的施設の管理運営ビジョンは。

答 経営改革や市の関与のあり方について見直し、より一層のサービス向上を図り行政コストの削減に努めます。今後、指定管理者選定委員会で精査しながら、不便をかけることなくより質の高いサービスの提供を図っていく方針です。

問 事業者の責任において債務負担行為が可能となる



指定管理者制度で運営する天王温泉「くらら」

よう検討し、契約締結する必要性があると考えているが。

答 経理手法により設定する必要があると考えられます。次年度以降、公募で選定する場合には可能団体に債務負担行為を考えます。

◎県事務の権限委譲は

問 受け入れによる行政的メリット、財政支援内容、本市財政出動規模は。

答 本市受け入れ事務は、福祉など二十七項目で、市民サービス向上につながるものが基本です。県からは権限委譲推進交付金が交付され、本市の財政出動は人件費が主となっており、新たな職員配置なく対応できると判断しています。

◎分庁方式は緊急避難的な庁舎利用

問 現行の分庁方式は三地区住民ならびに市職員の一体感に欠け、地域意識の滞留と市業務の非効率化を招いていると考える。住民意識と職員の一体感、効率性増進へ本庁方式に移行する

必要性が高まっている。早期に新市役所庁舎建設に向け、始動すべきでは。

答 合併協議で、合併時は分庁方式を採用し本庁方式による新庁舎建設は天王地区内に建設することが建設計画に明記されています。現在の分庁方式は緊急避難的な庁舎利用と認識しています。議会や市民の動向などを踏まえ鋭意対処してまいりたいと考えています。

問 財源の問題では、合併特例債や特定目的基金等を活用できるよう調査・研究



湯上市役所天王庁舎

を行い、P.F.I.方式や指定管理者制度など多角的にコスト削減方法を検討する必要があるのではないか。

P.F.I. 公共事業で行っている社会資本の整備を民間のノウハウや資金を生かして効率的に整備促進する手法。

答 今後の地方交付税の先行き見通しは大変厳しく、特例債事業の前倒しも視野に入れていく必要があると考えています。多角的にコスト削減を調査・研究していく必要があるとの提言は大変貴重なものと受け止めています。

財政の現状と 行政改革



中川 光博 議員



行政改革に取り組んでいます

◎財政の現状は

問 潟上市の財政状況を市民に公開することは重要かつ基本的なことですか。財政の豊かさを示す財政力指数及び経常収支比率は。借入金、金の総額、年度別返済計画及び公債費負担率は。また市長はこの財務状況をどのように認識していますか。硬直化した財政の建て直しにどう手をうちますか。

答 財政力指数0・32、経常収支率94・5％、公債比負担率17・1％、借入金残高、一般会計151億4千万円、特別会計165億7千万円、18年度の返済は一般・特別会計合計約30億4千万円です。三位一体改革を柱とした交付税制度の改革の中にあつて財政の見直しは困難を極める状況にあります。経常経費の削減に努めますが財源確保への各種使用料や税体系の見直し等の自主努力も必要になってきます。

問 ムダをなくすためには実施した事業の評価が欠かれません。現在の行政評価制度の中身は。また

◎行政改革を

答 行政評価システムの導入について現在鋭意検討しています。また市民の視点からの行政評価・評価の好評についても調査研究していきます。

◎下校時の子どもの安全対策

問 問題の核心は起きてしまつてからではあとの祭りだということにあります。3つの中学校の通学路の街灯設置について部局・教育委員会・学校・保護者共同のフィールド調査及び予算措置が急務です。見解は。また7つの小学校の遠距離通学児童の安全対策も急務

答 行政評価システムの導入について現在鋭意検討しています。また市民の視点からの行政評価・評価の好評についても調査研究していきます。

です。何人いますか。安全対策にはスクールバスの確保が必要です。見解は。

答 街灯は学校・保護者・地域の要望を受け教育委員会で検討し設置を部局に依頼していきます。7つの小学校の遠距離通学児童は531名です。スクールバスの確保については財政的にもまた幼稚園バス・福祉バス・レンタカーの活用も困難だと考えています。



企業誘致の期待できる昭和工業団地

障害者自立支援法 市の対応は



藤原 典男 議員



介護サービス計画を策定しています
ケアプランセンター天王

問 この法律の実施は障害者がサービスを利用したときの負担が原則1割負担と大きくなる。身体、知的、精神の三障害に対する福祉サービスの受けた量に依じて負担するという応益割りの導入で障害の重い人ほど負担が重くなり経済的な理由で必要なサービスを受けられなくなる事態が予想される。国や自治体は障害者が人間らしく生きる権利を保障する義務がある。市独自の支援策も必要ではないか、伺いたい。

答 市独自で障害者居宅支援金、小規模作業所へ通所する知的障害者に交通費の補助、人工透析患者には通院支援費の支給を行ってきましたが、負担が重くなるのが予想されるので軽減策が出来るか県、近隣の市町村の動向、財政を見ながら検討します。

◎介護保険制度

問 改正となった介護保険制度は食事代、居住費が自己負担となり低所得者の方は施設を出たりデーサービスなどの回数を減らすなど予想されるが状況はどうなっているのか。又県からの介護保険の償還金の返還終了時期及び終了後に介護保険を利用した際の助成制度を実施する考えはないか。

答 現在は利用者の増減はありません。償還終了は平成20年度で終了時点での介護サービス利用の助成制度に付いては第4期介護保険事業計画の中で真摯に受けとめ検討します。

◎今冬の豪雪対策

問 市はどのような総括をしたのか。農業被害対策、税金控除も伺いたい。

答 対策本部は18日間、24時間体制で対応しました。

この後、委託業者と問題点や課題などを話し合い市民からの要望、苦情などを反映させていきます。農業被害農家に「直接助成措置」を講ずる必要があると考えます。今年度は種苗交換会があり生産に影響ないよう努めます。家屋の除雪費用の税金控除は5万円以上を超える部分に付いて雑損控



J R 追 分 駅

◎追分駅の「みどりの窓口」存続を

除されます。

問 JRは「みどりの窓口」を廃止し対話方式の券売機の導入予定だが耳や目の不自由な方、高齢者のためにも窓口存続へと市も対応すべきではないか。

答 利用者の利便性を考慮し存続を働きかけます。

福祉除雪制度の 設置を



佐藤恵佐雄 議員



雪おろしをする市職員

問 今冬の大雪を教訓に市民の安心安全のために雪対策を強化し高齢者、身障者のために、すぐ対応できるような機関を検討し福祉除雪制度の設置をしてはどうか。

答 ご提案の福祉除雪制度については貴重なご提言として承りますが、市の財政状況から助成制度や補助金として支出することは考えておりません。

除排雪ボランティアの登

◎植樹と緑化対策を

問 環境に對する取り組みで初めてノーベル平和賞を受賞したケニア人の女性、ワンガリ・マタイ博士はアフリカにグリーンベルト運動を広め、30年近くの間、3千万本の苗木を植

え平和の種、希望の種を植え子どもたちの未来を確かなものにしていきます。森林破壊は地球温暖化の原因ともされており、少なくとも今のままの森林を伐採し続けたら、おそらく地球の森林は修復不可能と言われております。そこで我が市の将来の姿を鑑み行政として松枯れなどを伐採後に植樹、植林を図るような緑化対策をすべきでないか。

答 これまで実施している松くい虫防除対策事業では民有林が大半を占めていることから、ご指摘の伐採後の植樹、植林による緑化対策と、その指導につきましては、所有者の意向のほか部分伐採に伴う樹種の混合による複雑な生育管理、下刈りや間伐の作業など課題は多岐にわたりますので、



秋田みどり再生事業を展開

今後検討してまいります。秋田のみどり再生運動による「松枯れ再生募金」に對しても関心が寄せられております。

このように、失われていく木々の緑を取り戻そうとする市民参加の運動をさらに盛り上げるためにも、今後森林の機能回復に向けた官民一体の緑化推進に取り組む、ご提言の実現に努めてまいります。

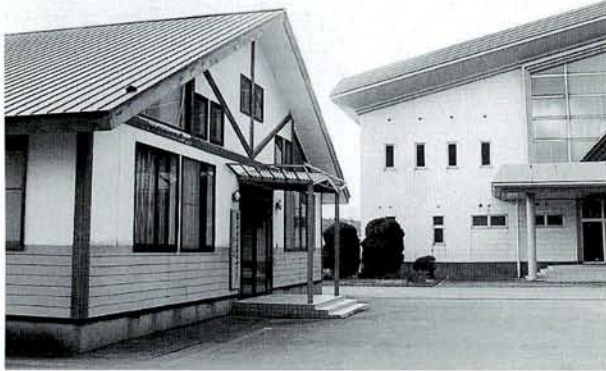
総務

常任委員会

男女共同参画推進条例を
制定

問 男女どちらかの人数が10分の4を下回らないようにする、というように数値目標を盛り込むべきでないか。

答 最初の5年間について



渦上市男女共同参画センター「ウイズ」

は男女共同参画の普及推進を重点事項としています。今回の計画の中では現状を踏まえ、積極的に均衡を図るという進め方を基本にしています。

問 渦上市において特徴的な例を挙げてください。

答 それぞれの責務を設けていますが、保育や教育に携わる者の責務については、本市の特徴的な位置づけは市内における児童福祉施策、市の子育て支援という観点からの計画であります。

ウィズ 英語の WITH をカタカナ表記したもので、「一緒に」「共に」という意味がある。そのため、一緒に頑張る、共に支えあう、お互いに思いやり合うというように、男女共同参画を連想させた。

ます。

問 男と女は体力的に違うので女性保護を基本とすべきでないか。

答 男女が社会で対等な関係ということで、男女がそれぞれできる範囲の役割を共通認識しながら対等の社会参画を基本としています。

問 条例を定めることによって、どのように変わっていくのか。

答 18年度の計画としては、各種のフォーラム等の開催もして行きたいと思っています。普及推進ということ、その作業を重点的に進めて行きたい。県内市町村で初めての条例制定で市民の意識が高まるものと思います。

議会議員の報酬及び、費用弁償に関する条例の一部を改正

問 22名体制になってすぐ報酬アップは、住民の合意が得られるか。

答 合併協議会で確認事項として新市において、市長

が特別職報酬等審議会に諮問し答申を得ています。他市とのバランス、県内の平均を考慮しても妥当という意見がありました。

問 飯田川地区財産区3本が、未だ渦上市になっても、行政のスリム化が求められている中で、まとめて1本で調整できないか。

答 持っている財産の形態が下虻川地区の場合は、墓地収入が主なるもので若干違いですが、委員よりご提案あったことを、財産区の関係者へお伝えするが、実現可能か現段階ではお答えできません。

問 行革委員会ほどのような経緯で今あるのか。

答 17年度分についての行革の取り組み状況をこの後、公表する予定です。行革自体は継続して精力的尚かつ前向きに取り組

組



財産区管理の墓地

んで行かなければならないと考えています。

問 行政改革推進委員会の識見者の定義と区分について。

答 広範な意見を反映できる立場にある方をお願いしています。議題の内容は主に公共施設の管理運営のあり方、民間委託のあり方等であり、これを調整して行く段階で、最終的に積み上げ方式で進めて行きたいと思っています。

社会厚生 常任委員会

介護保険条例の一部を改正

問 現在、介護保険料の所得階層は5段階であるが。

答 6階層になり、上の第2階層が一つ増えました。

市町村民税非課税世帯で合計所得金額が80万円以下の者である第2段階と80万円を超える者である第3段階に区分されます。

問 新予防給付の施行期間が平成19年4月1日とあるが。

答 潟上市と南秋田郡の一市三町一村で共同設置している介護認定審査会で、新予防給付の対象者である要支援認定者に係る審査・判定について、介護保険法の改正内容等の対応の準備が整う平成19年4月からの実

施を決定している関係で、それに合わせて施行期日を決めています。

問 保険料が平成18年度より月額4250円となるが値上げになるのか。

答 平成17年度は旧町の保険料を引き継いでいました。現在の保険料の月額、昭和地区で4420円、天王地区が4300円、飯田川



昭和介護センター

地区が3996円で、旧三町の平均の数値だけを見ると下がることになります。

老朽化が進む
クリーンセンター

問 クリーンセンターの排ガス冷却塔および空気予熱機等更新工事期間中のごみ処理に支障はないか。

答 ごみの少ない時期を考慮し、平成18年10月末から11月中旬に1号炉、2号炉を翌平成19年2月から40日間を予定しており、ごみの焼却には支障ありません。

問 平成15年に大幅な修繕をし、向こう10年は大丈夫との話があったが、今回は想定外のものか。

答 以前はダイオキシン対策で、フィルターを設置したもので、今回はそれ以外の老朽化の進んだ設備を修理交換するもので、以前より計画されていたものです。

問 中長期的な展望および計画は。

答 焼却炉の国庫補助は

もうありません。特例期間内に検討し、24年度までに実施したい計画です。

問 男鹿南秋広域の処理組合に加入する予定は。

答 今のところありません。

問 クリーンセンターは今の規模でいくらかかるのか。

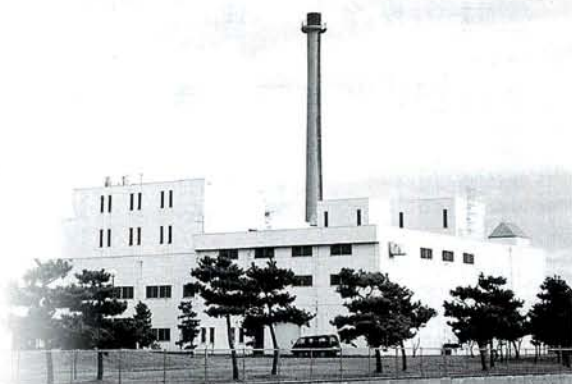
答 処理能力60トン規模で、1トン当たり5500万円かかるので、33億円程度となります。他にリサイクルプラザ、外溝工事もあります。

問 用地の購入も必要か。

答 施設のレイアウトにもよるが、現在の用地内に建設する方向で検討しています。

問 起債、PFIも合わせて行ったらどうか。

答 PFIを考えていますが、クリーンセンターが合つかどうかコンサルタント



市クリーンセンター

に聞いております。大館市を参考にし、視野に入れ検討します。

問 祭日のごみ収集は。

答 可燃ごみについては週2回の収集で、収集日が祭日と重なると次の収集日まで放置され、特に夏場などで気温の高い頃は衛生上問題があるとの意見が町内会長会議等で多く寄せられました。収集業者の意見では1週間分のごみを一度に出されると収集時間が通常の倍近くかかるため、祭日収集を4月より実施する計画になります。

産業建設

常任委員会

手数料徴収条例 三件を可決

問 有料宅地造成と手数料とは。

答 基準をクリアした土地で譲渡にかかる税金の優遇措置を受ける事ができる条例です。優良宅地の認定を受けようとする者から徴収します。

問 優良住宅の新築の認定手数料とは。

答 認定の要件があり、認

定を受けようとする者から徴収します。

問 市内の採取場所の有無、許可については。

答 砂利採取地は、市内には数多くあり、認可する際は慎重を期するものです。

**指定管理者 三件を一括
昭和総合開発(株)に指定を
認める**

問 施設全体の決算報告と経営状況については。

答 決算時には報告を受けています。年



第129回秋田県種苗交換会事務局
協賛金2,500万円を認め、
4月1日より種苗交換会事務局を開設

商2億8千万です。開業時は3千万の赤字で経営努力もあり、黒字の時も、豪雪の影響で利用者の減少はあります。

グラウンドゴルフ場

市内の同一施設は管理マニアルで統一して管理すべきとの意見がありました。

天王温泉 くらら

天王グリーンランド(株)に指定認める

問 指定された管理者が市長で管理者の資格に問題はないか。

答 法律上の問題はありません。



指定管理者制度スタート

問 農地流動化の見通しは。

答 動向については、把握は困難だが事業は継続していきます。

問 除雪、道路改良工事費については。

答 各学校グラウンド内を早急に整備するための排雪費用が主なものです。

道路に関しては冬期間に工事できなかった所を18年度の予算で行います。

問 天王地区の簡易水道について今後の取り扱い。

答 追分地区は上水道に変更します。今後は上水道に一本化して行きます。

問 市内同一給水はできないのですか。

答 天王地区には未給水区域があり、この解消。

同一給水については井川町、秋田市と協議し、進めていきます。

問 鞍掛沼公園施設及び住宅使用料について。

答 レストランの撤退で全体のあり方を検討する必要があります。

住宅の使用料については、滞納の回収に努めます。

問 病害虫防除対策協議会補助金について、体制、指導は確立していますか。

答 天王地区は育苗時の「いもち病」の防除実施は8割を越え、JAあきた湖東管内は低い状況です。農業規制に対応して全市的に行いたい。

問 航空防除については受益者負担の統一を図ります。

問 下水道の工事の場所は。

答 出戸新町、昭和乱橋、古川、天王、羽立北野、二田、蒲沼、鶴沼台、大清水北野、野村、新関、施工延長6メートルを予定しています。

問 合併処理浄化槽工事件数は。

答 20件を予定しています。

問 藤花園団地の水道管更新工事についてと移管の経緯は。

答 昭和59年の寄付採納で、昨年の調査で石綿セメント管が使われていると判明したので工事するものです。

文

教

常任委員会

問 アスベスト調査委託料の減額は、当初調査対象箇所を確認して計画したと思うが、対象箇所が減となった理由は。

答 当初職員の目視により53箇所あるのではないかという事で予算計上したが、専門家の調査の段階で33箇所の調査でよいことになり減額補正をしました。

すこやか子育て支援

問 すこやか子育て支援事業とは。

答 すこやか子育て支援事業は、今までの制度が平成17年8月より経済支援策などを見直し、よりよく支援するために県からの補助となつていきます。所得制限があります。

今までよりも幼児の対象が拡大されるようになります。



すこやかに育て…お昼寝の時間

問 子どもと親の相談員・心の教室相談員は、どういう方々がなっているのか。

答 学校の先生であつた方など経験のあつた方を学校からの要望に基づいて配置しています。

問 警備委託はどのあたりまでの警備が含まれているものか。

答 警備保障会社との契約になるが、建物は夜間の警備になり、不審者が侵入した場合等は警備保障会社に連絡が行くようになっていきます。また、今まで天王地区では警備委託をやつていなかったので今回安全安心対策のため是非ということをお願いしています。

問 保育バスの添乗員ですが、添乗員は何か特別な資格を持っているのか。

答 資格有無にかかわらず保育士の手の行き届かない分を補うための安全を考えにお願いしているのが特別な資格は必要ありません。

問 乳児保育園への入園待機者数とその方たちへの対処については。

答 追分地区や

二田地区で待機者が多くなつていてので調べています。施設の設備の面についてでもよく検討し、計画を立ててできるだけ対応していきたいと思つています。

学校の安全・安心

問 市の学校にはフェンスが無く、安全安心の面での対応は。

答 警察からのご協力と各地域から子ども達を見守るなどお願いをしています。また、防犯カメラを設置している学校もあります。今後、安全・安心には充分対応してまいります。

問 給食食材の購入方法は入札によるものか。地元の安いところから協力してもらっているのか。

答 米はJAから購入していますが、その他は地元から購入しています。羽城中学校の場合は商工会をと



地域で子どもたちを守ろう

して購入しています。天王地区の場合は各学校が発注しており、その場合、価格、新鮮さに問題があるので、今後購入方法を検討する必要があります。

問 飯田川プール工事発注と完成の時期はいつ頃を予定しているのか。

答 プールは6月から使用されるので早期に発注し、使用期間を避けて年内完成を目指します。

臨時会

(2月22日)

議長に 藤原幸作議員
副議長に 堀井克見議員

初議会は2月22日午前10時から昭和庁舎の議場で開かれました。



副議長 堀井克見



議長 藤原幸作

議長・副議長は選挙によつて議長には藤原幸作議員が当選、新議長が就任の挨拶をして議長席に着席、本議席の指定と会議録署名議員の指名、そして会期を一日と決定しました。

副議長は投票により堀井克見議員が当選しました。

次に、常任委員会委員を選任し、広域一部事務組合議会の議員を選びました。

その後、市長の行政報告と承認案件2件、議案1件、追加日程の議会運営委員会の閉会中の継続調査申出書を承認して第一回市議会臨時会を閉会しました。

市議会議員の委員会構成

4 常任委員会と議会運営委員会

▼潟上市議会の常任委員会と議会運営委員会、広域一部事務組合、議会広報編集特別委員会の構成は次のとおりとなっています。

▼各委員会の委員の任期は2年、広域一部事務組合議会議員の任期は議員の任期となつています。

総務常任委員会 6名

委員長 伊藤栄悦
副委員長 藤原幸雄
委員 千田正英
委員 藤原典男
委員 中川光博
委員 堀井克見

社会厚生常任委員会 6名

委員長 伊藤博
副委員長 菅原和
委員 戸田俊樹
委員 成田進
委員 佐藤幸孝
委員 藤原幸作

産業建設常任委員会 5名

委員長 児玉春雄
副委員長 佐藤義久
委員 澤井昭二郎
委員 赤平末次郎
委員 佐藤昇

文教常任委員会 5名

委員長 佐藤恵佐雄
副委員長 大谷貞廣
委員 小林政克
委員 西村武
委員 西村政克

議会運営委員会 4名

委員長 澤井昭二郎
副委員長 藤原幸雄
委員 成田進
委員 西村武

湖東地区行政一部事務組合議会議員 6名

議員 澤井昭二郎
議員 小井悟
議員 佐藤義久
議員 赤平末次郎
議員 伊藤栄悦
議員 菅原和

男鹿地区消防一部事務組合議会議員 4名

議員 千田正英
議員 伊藤博
議員 大谷貞
議員 西村武

男鹿地区衛生処理一部事務組合議会議員 4名

議員 児玉春雄
議員 成田進
議員 藤原幸雄
議員 佐藤恵佐雄

議会広報編集特別委員会 4名

委員長 藤原幸雄
副委員長 菅原和
委員 小井悟
委員 佐藤久

湖東地区行政一部事務組合議会(消防・斎場)

平成18年度一般会計 5億7,967万2千円

主な歳入

項 目	金 額
分担金及び負担金	5億7,158万2千円
使用料及び手数料	440万円
諸 収 入	368万2千円

主な歳出

項 目	金 額
議 会 費	138万9千円
総 務 費	3,663万4千円
衛 生 費	1,637万7千円
消 防 費	4億9,191万7千円
公 債 費	3,255万5千円
予 備 費	80万円

第1回定例議会は3月28日に開かれました。

一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例案、平成18年度一般会計予算案、いずれも原案どおり決まりました。

平成18年度町別負担金調べ

平成18年1月1日現在

区分 町別	負 担 金 (千円)				計
	平等割	世帯割	人口割	面積割	
潟 上 市	57,158	115,932	101,068	13,285	287,443
井 川 町	28,579	46,907	44,784	11,285	131,555
八 郎 潟 町	28,579	65,793	54,203	4,009	152,584
計	114,316	228,632	200,055	28,579	571,582
割合基礎等	20/100	40/100	35/100	5/100	

男鹿地区消防一部事務組合議会

3月27日当組合議会を開催し、副議長に、伊藤博議員(潟上市)を選出しました。

組合規約の変更では、構成市村の議員定数を削減しました。

構成市村	定数(改正前)	削減
潟上市	4人(4人)	0人
男鹿市	7人(11人)	4人
大潟村	2人(2人)	0人
計	13人(17人)	4人

このほかの議案の内容は次のとおりです。

●組合手数料条例の一部を改正する条例

地方公共団体の手数料の標準に関する政令の一部改正に伴い、審査手数料改正。

●平成18年度一般会計予算
歳入歳出予算の総額13億3千56万4千円は、財政環境が厳しい状況から、消費的経費の削減を図り、年々高度化する救急業務に対処

するための資機材購入費及び職場の環境改善のための冷房設備設置工事費等であります。

●平成18年度大型化学消防車特別会計予算
歳入歳出予算の総額2千615万5千円は、石油コンビナート等特別防災区域の防災に対応するための人件費及び諸経費です。

全議案全会一致で可決。

男鹿地区衛生処理一部事務組合議会

3月28日当組合議会を開催し、副議長に、成田進議員(潟上市)を選出しました。

組合規約の変更では、構成市の議員定数を削減しました。

構成市	定数(改正前)	削減
潟上市	4人(4人)	0人
男鹿市	7人(10人)	3人
計	11人(14人)	3人

このほかの議案の内容は次のとおりです。

●監査委員の選任
米谷一成

潟上市天王宮の後

289-7

任期平成22年3月31日まで

●組合一般職員の特殊勤務手当に関する条例の、一部を改正する条例

清掃業務手当として一日につき220円を支給。

●平成18年度一般会計予算

歳入歳出予算の総額は3億1342万6千円とするものです。当初予算対比3582万1千円(12・9%増)の主な要因は施設管理費に伴うもので、灯油の値上りと活性炭再生設備の修理をはじめ乾燥炉、賦活炉、冷却槽の更新等です。今後10年以上使用可能に必要と結論づけました。

全議案全会一致で可決。

私もひとこと



それは新鮮な驚きだった。関心のある議案もあり、初めて傍聴させてもらった私は、厳粛で品位のある雰囲気と議事が粛々と進むにつれて、市長や議員の市を思い、民を思う真剣で熱い気持ちに感激を覚えたのである。

男女共同参画「あきたF・F推進員」である私は、市民ワーキンググループの一員として、「男女共同参画推進条例」の制定に向けて、素案づくりに関わってきた。根強く残っている偏った慣習や性による役割分担の裏に潜む男女差別の撤廃は一に個々の意識改革にあるので、容易ではなく覚悟が必要だと施政方針を聞きながら改めて思った。そして他に先駆けて歩き始めたこの市の一員であることに喜びと誇りをも感じている。

今冬の記録的な雪は、切実な問いを私たちに投げかけた。

除雪のための地域あげての助け合い、一人暮らしの高齢者への対応、通勤通学の道の確保など行政の援助を待つだけではなく、「地域で、自分で、できることはやる」を

叩き込まれた日々だった。勿論、市の迅速な対策は論を待たないところだが……。

新潟県では、NPO法人の設立によって除雪ボランティアの活動が市民に好評とか。自治会長経験者としては大変興味深く考えさせられたことだった。

合併して一年。

隣接していた町同志とはいえ、人々の気質や考え、物ごとの捉え方に未だ旧町時の違いが残っていて、一步を踏み出せない部分があるのではと危惧している。

それを払拭させる大事な役目を負っているのも、地域をよく知る議員ではないだろうか。大変なことではあるが、努力していただき、市長が提唱する「心の合併」の一日も早い到来を願っている。

今回の傍聴では、直接知ることのなかった市の取り組みや議会の有り様がおぼろげながら分ってきて、次回はまた、今迄と違った新しい目で見てみたいとその日を楽しみにしている。

多くの方々に傍聴をすすめたい。

潟上市天王（上江川）

山寺秀明さん

「あきたF・F推進員」

仕事や家庭、社会は男女が共に協力し合いながら参画しあうという意味を込めた「F・F」の略。具体的には、男女共同参画社会の実現に向けて各市町村での取り組みや地域活動が活発に行われるよう、推進的な役割を担うリーダーです。

編集後記

the editor's postscript

昨年12月下旬より1月中旬頃までの豪雪は夢のように、今は桜も咲き空には鯉のぼりが元気に泳いで、若葉が目にしみる季節となりました。

▽新生潟上市議選改選後、初の3月定例議会が19日間（3月6日～24日）の日程で開きました。

▽この度私たち4名（前期8名）が、広報編集委員に選任されましたが、前任者を見習い更に研さんし、数多くの市民より議会をご理

解いただけのパイプ役になる紙面づくりに、委員一同頑張ることをお誓いします。貴重な経験を生かし、多くの市民より愛読され親しまれる編集に努めます。

また今回より「傍聴から」を改め「私もひとこと」に変えました。

▽8月には国体リハーサル大会、また11月1日より一週間本市での種苗交換会等、紙面も賑やかになるうかと思いますが、いつでもお気づきの点、アドバイス等いただければ幸いです。

委員一丸となって幅広く見聞し、アイデアを生かし誠心誠意、努力いたします。編集委員長 藤原幸雄 記



副委員長 菅原 久和（前列左）
委員 佐藤 義久（前列右）
委員 小林 悟（後列中）
議長 藤原 幸作（後列左）
副議長 堀井 克見（後列右）